

2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月10日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6036 URL <https://keepergiken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀来 聡介  
 問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 山下 文子 (TEL) 0562-45-5258  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の業績 (2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	8,566	17.3	3,016	30.2	3,042	30.6	2,087	29.5
2022年6月期第2四半期	7,302	17.3	2,316	27.5	2,330	28.1	1,611	31.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期第2四半期	76.52		—					
2022年6月期第2四半期	59.08		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	13,207	9,281	70.3
2022年6月期	11,858	8,039	67.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 9,281百万円 2022年6月期 8,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,237	20.1	5,463	26.3	5,463	26.3	3,805	23.0	139.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年6月期2Q	28,280,840株	2022年6月期	28,280,840株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年6月期2Q	1,000,550株	2022年6月期	1,000,516株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期2Q	27,280,318株	2022年6月期2Q	27,280,424株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2022年7月1日から2022年12月31日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、感染症対策、各種政策の効果もあり、経済社会活動の正常化が進んできました。一方、足元では、ロシアのウクライナ侵攻や中国・台湾問題など地政学的リスクに加え、日米金利差に伴う円安進行や急激な国内物価上昇など経済的リスクも高まり続けており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供されるKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えています。

当第2四半期累計期間(2022年7月1日から2022年12月31日)におきましては、売上高は85億66百万円(前年同期比17.3%増加)、営業利益は30億16百万円(同30.2%増加)、経常利益は30億42百万円(同30.6%増加)と増収増益となりました。なお、第2四半期累計期間としては、過去最高益となります。

また、第2四半期会計期間(2022年10月1日から2022年12月31日)では、売上高は47億77百万円(前年同期比18.2%増加)、営業利益は18億45百万円(同21.6%増加)、経常利益は18億62百万円(同22.4%増加)となっております。

### キーパーLABO運営事業

半導体部品不足等により車の製造が滞っていたことが影響し、新車施工が例年より少ない状況が続きました。そのため、長期納車を理由に買い替えを断念され、今、お乗りの車へのリフレッシュ施工や中古車を購入された方の施工が大幅に増加しました。

コーティングの施工台数を見ても、新車用のEXキーパーの施工台数は、直近続いた20%以上増加とはならなかったものの、施工台数が5,124台で前年同期比14.9%増加、売上で約8億22百万円と実績の上乗せとなりました。

ECOダイヤモンドキーパーが加わったダイヤモンドキーパーシリーズは、施工台数は22,141台の前年同期比14.1%増加、売上16億71百万円と堅調です。

クリスタルキーパーは同じ耐久期間のタイプであるフレッシュキーパーと合わせて38,795台の前年同期比19.1%増加と、コーティング施工台数では一番大きな伸び率となりました。これは、フレッシュキーパーが発売された事で、女性ドライバーや軽自動車ユーザーなどへの評判が高く、新しいマーケットの開拓が着実に進みつつある結果だと考えております。

そして、メンテナンス類においては27.7%増加となり、今の時勢に合わせて一番の伸び率となりました。このように「新車納車が少なくても既販車が多くなる」というKeePerの強みが十分に生かされた結果となりました。洗車需要も向上し、総来店台数は11.3%増加、コーティングの平均単価も向上したため、全体での平均単価は15,997円の11.2%増となりました。

運営面では、2022年11月16日 LABOのWEBサイトにて、お客様自身で見積もりを作ることができる「見積もりシミュレーション」を開始しました。見積もりシミュレーション後には、そのまま予約出来る仕組みにもなっており、利便性も良く、お客様から評価も上々となっております。電話やメールでの問い合わせも減ったことで、スタッフが作業に集中出来るなど運営効率も向上しております。

また、2022年10月より輸入車及び特別な運転操作を伴う車両は、お客様に作業スペースへの移動をお願いしております。お客様の大切なお車を安全にキレイにさせていただく為にも、このようなお願いをすると同時に、効率化とキャパシティーアップを目的に、洗車作業から仕上げ、確認まで車の移動が不要となる工事を実施し、大きな効果を得られました。

**今後の新店開発の予定**

店舗開発の再構築により新店予定地がさらに増え、オープン済み店舗2店舗に加え、以下の通り新たに15店舗予定しておりましたが、部材の長納期化による工事の遅れも考慮し、今期の新規出店数は予定通り12店舗を予定しております。

**新店のオープン日**

店舗名	所在地	オープン日
新座店	埼玉県新座市	2022年11月2日
小倉南店	福岡県北九州市	2022年11月26日

**今後の予定**

店舗名 (仮称)	所在地	オープン予定月
四日市南店	三重県四日市市	2023年3月
用賀店	東京都世田谷区	2023年4月
武蔵村山店	東京都武蔵村山市	2023年5月
各務原店	岐阜県各務原市	2023年5月
江東店	東京都江東区	2023年5月
松山店	愛媛県松山市	2023年5月
秋田店	秋田県秋田市	2023年6月
大宮東店	埼玉県さいたま市	2023年6月
伊勢崎店	群馬県伊勢崎市	2023年6月
越谷店	埼玉県越谷市	2023年6月
福生店	東京都福生市	2023年7月
西春店	愛知県北名古屋市	2023年7月
府中店	東京都府中市	2023年7月
福岡早良店	福岡県福岡市	2023年7月
大阪平野店	大阪府大阪市	2023年8月
宇都宮店	栃木県宇都宮市	2023年9月
上尾店	埼玉県上尾市	2023年9月

**既存店の改装**

需要拡大によつてのコーティングブース増設やゲストルームの配置換えなどが行われております。

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる 作業場への改修	その他改修
佐倉店	千葉県佐倉市	2台→4台		
甚目寺店	愛知県あま市	3台→5台	4台分	
春日井店	愛知県春日井市	3台→8台	3台分	
安城店	愛知県安城市		4台分	
豊橋店	愛知県豊橋市	3台→6台		
蕨店	埼玉県蕨市	3台→6台	2台分	
宝塚店	兵庫県宝塚市	3台→7台	4台分	
相模原淵野辺店	神奈川県相模原市	3台→6台	3台分	
大須店	愛知県名古屋市中区			待合室の配置・ 設備改修
鶴見店	大阪府大阪市鶴見区	3台→8台	3台分	

**今後の予定**

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる 作業場への改修
大宮店	埼玉県さいたま市	4台→6台	3台分
東郷店	愛知県愛知郡東郷町	4台→7台	3台分
仙台長町店	宮城県仙台市	2台→6台	3台分
津店	三重県津市	5台→7台	4台分
福井大和田店	福井県福井市	4台→9台	4台分
松坂店	三重県松阪市	2台→9台	2台分
トレッサ横浜店	神奈川県横浜市	4台→8台	
市原店	千葉県市原市	3台→6台	

**移転オープン**

店舗名	所在地	オープン日
八王子店	東京都八王子市	2022年9月26日

その結果、キーパーLABO運営事業の売上高は48億43百万円（前年同期比23.3%増加）、セグメント利益は14億40百万円（同22.3%増加）となりました。

## キーパー製品等関連事業

当事業における最も大きなシェアを占めている石油販売業界は、新型コロナによる行動制限がなくなり、車での外出が多くなったことで、お客様のご来店が大きく回復しております。そんな中、本業がガソリンスタンドである店舗が約9割あるキーパープロショップにおいて、大きなトピックが3つありました。

1つ目は、2022年10月に発売を開始した「フレッシュキーパー」です。「雨が洗車になり、洗車回数が減る」という実用的な機能や、お求めやすい2万円台の価格でもあり、特に女性のお客様に受け入れられております。本格的なプロモーションを行っていないにもかかわらず、キーパープロショップ店頭での声掛けや、お客様に口コミによって10月～12月で、約10万台以上の施工に繋がりました。この事からもフレッシュキーパーは、ガソリンスタンドに適したサービスであり、2023年3月以降にはTVCM・WEBなどを使った本格的なプロモーションを開始するため、今後、さらに拡大するサービスになると予想しております。

2つ目は、2022年10月13、14日に、「第7回2022年キーパー技術コンテスト」の集大成である「全日本チャンピオン決定戦」が行われました。参加人数3,300人の頂点を決める大会とあり、全国のキーパープロショップより大きな注目を浴び、安藤祐子選手が2回目の全日本チャンピオンを獲得されました。コロナ禍で3年間開催が出来ませんでしたが、この「キーパー技術コンテスト」の大きな盛り上がりは、キーパープロショップの恒例行事として完全に復活する事が出来ました。

3つ目は、最需要期である2022年12月には、同じくキーパープロショップの恒例行事である、キーパーコーティングの施工台数(ポイント)の合計で競い合う「2022年12月 キーパー選手権」を2年ぶりに開催する事が出来ました。キーパー選手権の応援策として、「フレッシュキーパーの応援ツール」の申し込みが過去最高の店舗から依頼があるなど、12月はフレッシュキーパーを軸に全国のキーパープロショップは、大きな盛り上がりを見せました。

さらに、2022年12月19日には、全国放映であるNHK「おはよう日本」内コーナー「おはBiz」で当社が紹介されました。やはり全国放映の地上波という事もあり、テレビをご覧になった方より問い合わせがあり、多くの施工に繋がりました。

新車マーケットにおいては、新型コロナウイルスによる世界的な半導体不足の影響が解消され始め、新車ディーラーでの納車ラッシュが続き、活況を取り戻し始めました。

そんな中、スバル純正の「SUBARU WダイヤモンドKeePer」は、発売から2年経ったこともあり着実に定着し、前期末に20%だった付帯率が、直近の実績では27%まで上昇してきております。さらに、既販車・中古車向けボディコーティングとして「SUBARU ダイヤモンドKeePer」も発売開始はじめ、販売店舗へ順次導入が進んでおります。

トヨタ販売社向けKeePerボディコートへの進捗は、製品導入が始まった販売社は、71社となりました。引き続き製品力の優位性を軸とした新規活動も行っていますが、導入したトヨタ販売店の付帯率増加と共に、コーティング収益向上に注力しております。

新車販売時のコーティング施工台数増は当然として、愛車をキレイに乗り続ける為に定期的なコーティングメンテナンスが販売店で出来るように、技術研修などの依頼も多くなってきております。また、販売店舗内にキーパーLABOを作り、「車をキレイにする」ビジネスの協業事例も出始めており、KeePerが拡大する手応えを十分に感じております。

そして、トヨタ・スバル以外の新車販売店舗との直接売上実績も拡大しており、引き続き新車メーカー全方位に対して、純正採用活動を進めてまいります。

さらに、車以外のサービスでは、オートバイへのコーティングは「2りんかん」に加えて、株式会社バイク王&カンパニーが展開する「バイク王」店舗でもサービスが始まっております。自転車へのコーティングは、「TREK」に加えて、ジャイアント・マニュファクチャリング社が展開する「GIANT」店舗でもサービスが始まっております。今後は、スマートフォン用のコーティング拡大も含め、陶器メーカー、家電販売業界、船舶、看板業界にも進出し始めており、KeePer製品の、販路の拡大への路線を着実に進めております。

海外事業においては、新型コロナウイルス感染拡大によって活動がストップしていましたが、規制緩和によって、すでにキーパープロショップが展開している、香港やタイ、台湾などの海外での活動が出来るようになりました。また、それ以外にもメキシコ、韓国、マレーシアでもKeePer導入の活動が始まっており、中長期をみた海外での営業活動を開始させております。

その結果、キーパー製品等関連事業の売上高は37億23百万円(前年同期比10.3%増加)、セグメント利益は15億75百万円(同38.4%増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産・負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ13億48百万円増加し、132億7百万円となりました。これは主として、現金及び預金が25百万円減少、売掛金が5億61百万円増加、有形固定資産が3億52百万円増加したこと等によるものです。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1億7百万円増加し、39億25百万円となりました。これは主として、買掛金が2億3百万円増加、借入金が1億86百万円減少したこと等によるものです。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ12億41百万円増加し、92億81百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により20億87百万円増加した一方で、配当により8億45百万円減少したこと等によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。



## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,721,463	2,696,336
受取手形	168,918	210,567
売掛金	1,157,351	1,718,925
商品	706,006	1,002,356
貯蔵品	68,489	68,216
前払費用	189,880	105,783
その他	17,324	147,476
貸倒引当金	△265	△193
流動資産合計	5,029,168	5,949,469
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,127,116	3,471,731
構築物（純額）	201,894	218,841
機械及び装置（純額）	66,082	54,874
車両運搬具（純額）	22,292	29,975
工具、器具及び備品（純額）	130,607	172,680
土地	2,016,836	2,016,836
建設仮勘定	63,609	16,420
有形固定資産合計	5,628,439	5,981,359
無形固定資産		
ソフトウェア	46,495	64,486
その他	61,048	56,836
無形固定資産合計	107,543	121,323
投資その他の資産		
投資有価証券	19,388	19,654
関係会社株式	1,000	1,000
長期前払費用	36,733	48,875
敷金及び保証金	364,218	422,374
建設協力金	291,760	288,010
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	368,995	363,962
その他	23	10
貸倒引当金	△13	-
投資その他の資産合計	1,093,566	1,155,347
固定資産合計	6,829,550	7,258,031
資産合計	11,858,718	13,207,500

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	359,263	562,446
1年内返済予定の長期借入金	379,936	217,047
未払金	422,871	348,124
未払法人税等	923,770	1,012,781
未払費用	312,764	286,055
賞与引当金	47,169	47,325
契約負債	163,526	214,219
その他	155,884	176,756
流動負債合計	2,765,187	2,864,757
固定負債		
長期借入金	160,000	136,000
退職給付引当金	370,913	392,526
役員退職慰労引当金	256,683	263,541
資産除去債務	262,025	265,121
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,053,665	1,061,232
負債合計	3,818,853	3,925,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	7,871,812	9,113,541
自己株式	△2,188,728	△2,188,870
株主資本合計	8,037,865	9,279,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,999	2,058
評価・換算差額等合計	1,999	2,058
純資産合計	8,039,865	9,281,511
負債純資産合計	11,858,718	13,207,500

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	7,302,230	8,566,513
売上原価	1,350,609	1,538,670
売上総利益	5,951,620	7,027,842
販売費及び一般管理費	3,634,792	4,011,362
営業利益	2,316,828	3,016,479
営業外収益		
受取利息	708	782
受取配当金	209	180
為替差益	9,091	22,647
受取手数料	3,876	2,780
その他	1,803	980
営業外収益合計	15,689	27,371
営業外費用		
支払利息	2,004	922
その他	23	114
営業外費用合計	2,028	1,037
経常利益	2,330,489	3,042,813
特別利益		
固定資産売却益	12	1,580
特別利益合計	12	1,580
特別損失		
固定資産除売却損	2,170	7,235
減損損失	1,733	-
特別損失合計	3,903	7,235
税引前四半期純利益	2,326,599	3,037,159
法人税、住民税及び事業税	741,302	944,733
法人税等調整額	△26,560	5,006
法人税等合計	714,741	949,740
四半期純利益	1,611,858	2,087,418

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,326,599	3,037,159
減価償却費	140,658	148,896
減損損失	1,733	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	△85
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,211	21,612
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,458	6,858
受取利息及び受取配当金	△917	△962
為替差損益(△は益)	△421	248
支払利息	2,004	922
固定資産除売却損益(△は益)	2,157	5,654
売上債権の増減額(△は増加)	△572,193	△603,223
棚卸資産の増減額(△は増加)	△36,207	△296,077
仕入債務の増減額(△は減少)	△276,509	203,182
前払費用の増減額(△は増加)	65,092	84,096
未払金の増減額(△は減少)	△195,233	△47,824
未払費用の増減額(△は減少)	48,773	△26,708
契約負債の増減額(△は減少)	38,753	50,692
その他	△34,190	△116,348
小計	1,541,781	2,468,093
利息及び配当金の受取額	917	962
利息の支払額	△2,004	△922
法人税等の支払額	△721,419	△855,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	819,274	1,612,395
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△841,903	△516,444
有形固定資産の売却による収入	12	1,580
無形固定資産の取得による支出	△2,510	△21,372
貸付金の回収による収入	-	50
敷金及び保証金の差入による支出	△14,121	△61,318
敷金及び保証金の回収による収入	2,534	3,162
建設協力金の支払による支出	-	△7,000
その他	10,788	△3,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△845,199	△604,553
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	340,000	-
長期借入金の返済による支出	△170,889	△186,889
自己株式の取得による支出	△163	△141
配当金の支払額	△545,608	△845,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376,661	△1,032,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	421	△248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△402,164	△25,127
現金及び現金同等物の期首残高	1,517,132	2,721,463
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,114,968	2,696,336

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	143,858	—	143,858	—	143,858
仙台営業所	343,538	—	343,538	—	343,538
東京営業所	680,898	—	680,898	—	680,898
横浜営業所	303,379	—	303,379	—	303,379
名古屋営業所	741,131	—	741,131	—	741,131
大阪営業所	366,676	—	366,676	—	366,676
広島営業所	344,284	—	344,284	—	344,284
福岡営業所	451,254	—	451,254	—	451,254
東日本	—	2,037,339	2,037,339	—	2,037,339
西日本	—	1,889,869	1,889,869	—	1,889,869
顧客との契約から生 じる収益	3,375,021	3,927,208	7,302,230	—	7,302,230
外部顧客への売上高	3,375,021	3,927,208	7,302,230	—	7,302,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	433,067	—	433,067	△433,067	—
計	3,808,088	3,927,208	7,735,297	△433,067	7,302,230
セグメント利益	1,138,800	1,178,027	2,316,828	—	2,316,828

(注) セグメント間の内部売上高433,067千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

当第2四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	155,434	—	155,434	—	155,434
仙台営業所	371,892	—	371,892	—	371,892
東京営業所	746,659	—	746,659	—	746,659
横浜営業所	348,030	—	348,030	—	348,030
名古屋営業所	812,144	—	812,144	—	812,144
大阪営業所	435,451	—	435,451	—	435,451
広島営業所	356,361	—	356,361	—	356,361
福岡営業所	497,305	—	497,305	—	497,305
東日本	—	2,474,943	2,474,943	—	2,474,943
西日本	—	2,368,288	2,368,288	—	2,368,288
顧客との契約から生 じる収益	3,723,280	4,843,232	8,566,513	—	8,566,513
外部顧客への売上高	3,723,280	4,843,232	8,566,513	—	8,566,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	656,109	—	656,109	△656,109	—
計	4,379,389	4,843,232	9,222,622	△656,109	8,566,513
セグメント利益	1,575,967	1,440,512	3,016,479	—	3,016,479

(注) セグメント間の内部売上高656,109千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。